

【参加者のみなさんへお願い】

- ・市内探訪では集合から解散まで統一行動となっています。
- ・歩行中は一列又は二列で歩き、道路横断時などは十分に気を付けてください。
- ・急坂、石段等がありますので、足元に注意してください。
- ・植物や昆虫の採集はしないでください。
- ・ごみは各自お持ち帰りください。
- ・記録写真等を撮る事がありますのでご了承ください。
(ご都合の悪い方はお申し出ください)
- ・コロナウィルスの感染拡大防止のためお互いの距離を保ってマスク着用等のご協力をお願い致します。

【コースの概要】

武蔵五日市駅^{🚶♂️}①バス乗り場 9:00 発^{🚶♂️}「西小中野」下車^{🚶♂️}→
子生神社^{🚶♂️}→沢戸橋→道標→岩瀬峡→佳月橋・歌碑→
廣徳寺^{🚶♂️}→双虎巖→小和田・御嶽神社→小和田橋→
小庄・土手^{🚶♂️}→あゆみ橋(袂)→粟島神社→
五日市広場(アンケート・解散予定 12:30) ^{🚶♂️}
(^{🚶♂️}印はトイレ)

私たち市民解説員は、ふるさとあきる野市を愛し、
地域の自然・歴史・文化の再発見に努めるとともに、
これらを市民の皆さまや市外から訪れる方々に紹介し、
まちづくりと生涯学習の推進を図る学習ボランティアです。

あきる野市は、自然や遺跡、文化財の宝庫です。
美しく恵まれた環境のもとで、地域の皆さまと一緒に
学びあい、活動できることを嬉しく思っています。
今後ともよろしくお願いします。

市民解説員： 戸田正法・中田美穂子・高橋清樹・大塚博之

市民解説員が案内する市内探訪

秋色の岩瀬峡を歩く

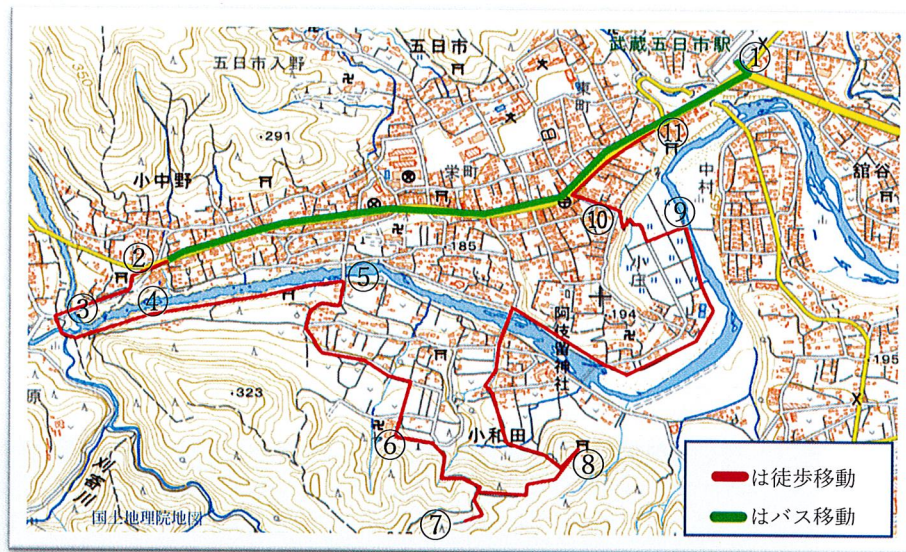
～江戸時代の名所 双虎巖を訪ねて～

岩瀬峡



令和4年11月17日(木)

あきる野市中央公民館



① JR 武蔵五日市駅前 …… 受付・資料配布

② 子生神社 (小中野 187 番地) …… 挨拶・行程説明・準備体操

祭神：猿田彦命・木花開耶姫命 見所：本殿 (市指定文化財) 彫刻。

由緒：創立年月日不詳。創建以来子孫繁栄、安産子育ての神とし、遠近妊婦の崇敬が厚い。

③ 沢戸橋・土場

・沢戸橋

明治 43 年 (1910) 現在の橋より 50m 上流に木製の橋が架かっていた。橋台が残る。

昭和 3 年 (1928) に架けられたのは鉄筋橋。

昭和 57 年 (1982) に現在のアーチ鉄橋に架け替えられた。長さ 70.2m、幅 9m。

・大正末期まで橋の下側に“土場”が設置され、筏づくりの場所であった。

④ 岩瀬峡

沢戸橋付近から佳月橋までの間が岩瀬峡と呼ばれ、黄葉と大小の岩々を流れる清流でつくられた景色が望まれる。 注) 足元に十分お気を付けて景色をお楽しみください。

⑤ 佳月橋と金田一春彦歌碑

・佳月橋

昭和 59 年 (1984) 3 月完成。長さ 50m、幅 3m、高さ 5.65m。

昭和 57 年 (1982) 架設の木橋は完成間もなく台風・大雨で流出し、現在の橋は 3 代目。

佳月橋の名称は昭和 26 年 (1951) 5 月、木橋架設の際に公募で決定した。

・金田一春彦 (国語学者 1913～2004 年) 歌碑

「いつか いちどは 来たいと思うた 見ても見あきぬ あき川に」と秋川を詠んだ歌が石に刻まれ、平成 29 年 (2017) 3 月佳月橋の脇に歌碑を設置された。

⑥ 龍角山 廣徳寺 (小和田 234 番地)

宗派：臨済宗 建長寺派

創建：応安 6 年 (1373) 南北朝時代、 開山：心源希徹禪師 (建長寺七十世)

本尊：聖観世音菩薩、脇侍に不動、毘沙門

開基：正応長者 (正応了受居士)

初め正応長者の妻が堂宇を建立、後に正応長者が伽藍を整備し、開基となる。

沿革：創立当時長者宅の牝馬が一本角の竜馬を産んだ、山号を「龍角山」と名付け、

寺を「廣徳寺」と称した。その後数度の火災により一時衰退したが、天文年間

北条氏が堂舎を建立、寺領 9 ヶ村を寄進し再興した。江戸期寺領 40 石の御朱印。

市指定文化財：聖観世音菩薩、十六羅漢像、後北条虎印文書、総門、山門。

都天然記念物：タラヨウ、カヤ。 都指定史跡：廣徳寺境域。

⑦ 双虎巖

『境内 (廣徳寺) 巽の方丘上にあり、一はめぐり四丈あまり、高さ五尺、一つは双虎のいづくまりたる形にみなさる、因てニツ岩と云』

江戸時代に編纂された「新編武蔵風土記稿」より

⑧ 小和田・御嶽神社 (小和田 531 番地)

祭神：日本武尊・布都御魂神・鎌倉権五郎景政霊

鎮座：*天平 8 年 (736) 仁王 45 代「奉勸御嶽山大権現」金峰山よりこの郷に厄遷奉る。

由緒：大正 8 年 (1919) 10 月 15 日石神社・五霊神社を合祀し、小和田全体の氏神。

平成 30 年 3 月 22 日 五霊神社ご神体の神鏡が「あきる野市指定文化財」となる。

神鏡の陰刻銘文「廣徳寺守護 御霊大明神三浦権五郎景正是也 不知本跡

本尊直降而擁護 應永廿七年十二月十八日 旦那日奉氏 [?]

*「小和田・御嶽神社合祀 100 年記念」より

⑨ あゆみ橋 (袂)

・あゆみ橋は平成 13 年 (2001) に架けられた。

・秋川橋が架かるまでは、八王子道の出発点は富田屋横丁であった。富田屋横丁を南に歩くと粟島神社が有り、その横から急なジグザグ道が降りている。現在あゆみ橋が架かっている辺りで秋川を渡った。さらに、今の小峰公園の桜尾根を歩き小峰峠を越えて八王子へと行った。

⑩ 粟島神社 (五日市 1126 番地 1)

祭神：少名彦名命・大己貴命・息長足姫命

由緒：和歌山の淡島神社の祭神を祀っている。

農事、裁縫、諸病・交通安全の守護神とされる。

⑪ 五日市広場 …… 挨拶・アンケート回収・解散